

科目名	ボランティア論						
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期			
講義	選択	2	1	前期			
担当者名	伊藤 一統	関連する資格					
授業概要							
ボランティアの意義と実情について学び、現代社会におけるボランティア・セクターの重要性について理解する。							
到達目標				成績評価方法			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアの思想や歴史的経緯、様々な活動の実態など基礎的な知識を修得する。</li> <li>・現代社会におけるボランティア・セクターの重要性と状況について理解する。</li> <li>・ボランティア・セクターの活動への関心をもつ。</li> </ul>				課題提出（学外への調査課題を含む） 50%、試験 50%			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験（中間・期末）	○	○	○				50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○		○				25
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○		○	○	25
授業計画と概要				アクティブラーニング			
授業計画							
1) オリエンテーション 講義概要、日程、方針等を説明する							
2) ボランティアとは何か① 概念と歴史							
3) ボランティアとは何か② ボランティアの現状と課題							
4) ボランティア・セクターの役割と構造① 市民社会と新しい公共							
5) ボランティア・セクターの役割と構造② コミュニティ、市民活動、中間支援							

6) NPO とボランティア① 非営利組織のいろいろ	
7) NPO とボランティア② 特定非営利活動促進法と NPO の活躍する社会	
8) 市民活動における中間支援① 中間支援とは何か～その意義と重要性	
9) 市民活動における中間支援② どんなところか	フィールドワーク
10) NPO のマネジメント① NPO のつくりかた	
11) NPO のマネジメント② 非営利組織論の視点から	
12) NPO のマネジメント③ 事業性とソーシャル・ビジネス	
13) ボランタリー・セクターの諸側面① 公共の担い手としての NPO	
14) ボランタリー・セクターの諸側面② 協働の在り方	
15) まとめ 大学生とボランティア活動	
授業外学習	
・学内外の実際の非営利活動に参画することが望ましい。	
テキスト、参考書、教材	関連する科目
<テキスト> 「テキスト市民活動論ーボランティア・NPO の実践から学ぶー」(大阪ボランティア協会) <参考文献> ボランティア、NPO 等に関する書誌全般 ＊推薦する参考文献は講義で適宜紹介する。	
備考	
受講の心得> 「ボランティア」の意味についての理解を受講姿勢にも反映されたい。 【オフィスアワー】伊藤 一統 ittoh@ube-c.ac.jp	